

吹田市在宅医療・介護連携推進協議会 平成28年度の報告と平成29年度の予定

～住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように～

国が定める8事業

- ア 地域の医療・介護資源の把握
- イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ 医療・介護関係者の研修
- キ 地域住民への普及啓発
- ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

1 平成28年度の報告

(1) 吹田市在宅医療・介護連携推進協議会

回数	参加延人数
2	24

在宅医療・介護連携推進事業のスローガン
医療と介護 重ねた年輪 支える 吹田

構成員；吹田市医師会・歯科医師会・薬剤師会、市立吹田市民病院、済生会吹田病院、協和会病院、介護保険事業者（居宅、訪問介護、訪問看護、小規模多機能型居宅介護）
大阪府吹田保健所、福祉部・健康医療部

(2) 部会・吹田市ケアネット実務者懇話会

回数	参加延人数
2	90

構成員；吹田市医師会・歯科医師会・薬剤師会、市内14病院、介護保険事業者（居宅、訪問介護、訪問看護、小規模多機能型居宅介護）、大阪府吹田保健所、福祉部・地域包括支援センター、健康医療部

(3) 作業部会

テーマ	国事業	回数	参加延人数	内容・成果物
医療・介護資源の把握	ア	3	24	医療・介護資源のポータルサイト立ち上げ
医療機関と地域連携のルールづくり	ウ	4	39	連携ツール「利用者情報提供書」の見直し、連携の時期や報酬等のフロー図作成
多職種連携研修会	カ	4	46 研修会 110	平成29年1月26日(午後) 千里市民センター テーマ「退院時支援について」
地域住民への普及啓発	キ	3	30	在宅療養に関するリーフレット作成

2 平成29年度の予定（案）

（1）吹田市在宅医療・介護連携推進協議会

第1回 平成29年7月6日（木）午後2時～4時 総合福祉会館

- ・作業部会（予定）について
- ・在宅医療・介護連携に関する相談支援についての意見聴取

（2）吹田市ケアネット実務者懇話会

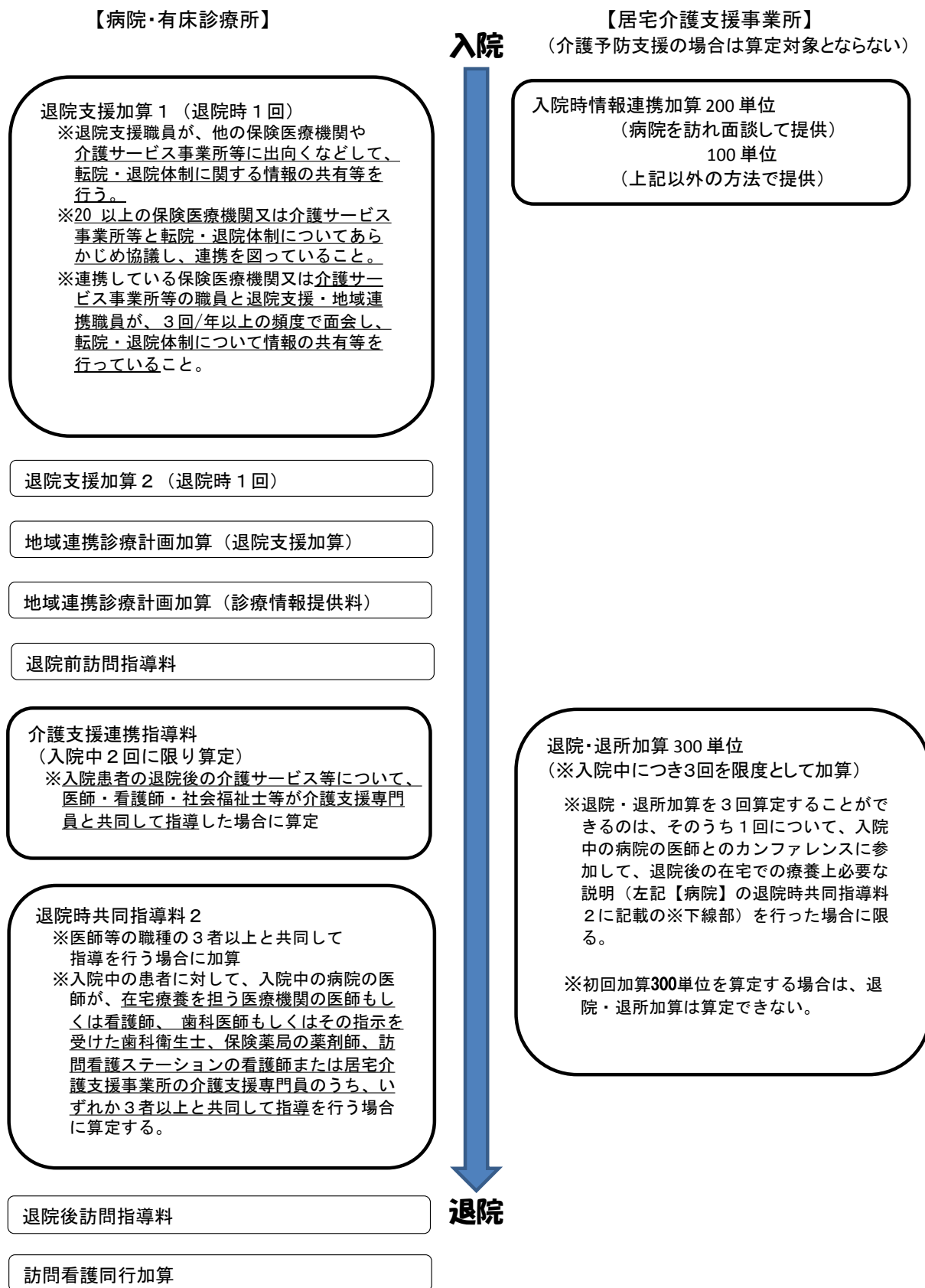
第1回 平成29年8月30日（水）午後2時～4時 総合福祉会館

（3）作業部会（予定）

- ・医療・介護資源の把握のためのポータルサイトの立ち上げ、運用
- ・医療介護連携のためのツールや手法について普及啓発
- ・多職種連携研修会の開催
- ・啓発リーフレットの普及

参考資料

<入院・退院支援にかかる診療報酬および介護報酬体系>

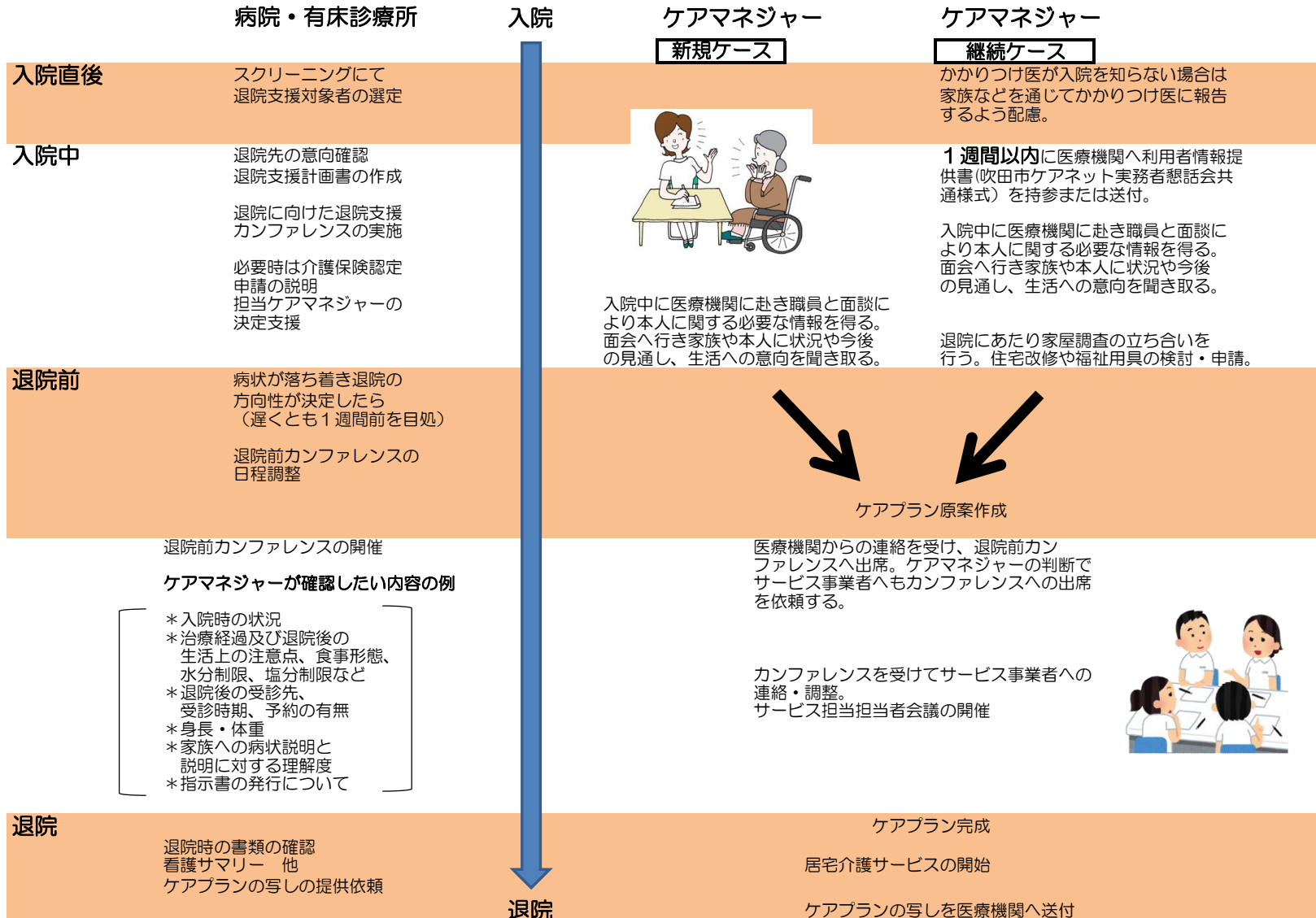


※平成 28 年 4 月 1 日以降の診療報酬および介護報酬の内容です。
 (算定にあたっては、各病院等、各事業所で最新の算定要件・施設基準を確認してください。)

介護保険の居宅サービスを利用される方の入院から退院までの支援フロー

◎この流れは入院から在宅へ戻るまでの、医療機関及び居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）を中心とした関わり例を示したものです。

◎病院から地域へ、あるいは地域から病院へアプローチする時期や気を付けるべき点を参考にしましょう。



基本的な連携のマナー

- お互いの立場を理解し、丁寧な対応を心がけましょう。
- お互いの役割を理解した上で、協働していくことが患者に対するマナーにもつながります。退院支援担当者がついていない場合もあることを理解して連携を開始しましょう。
- お互いに、日頃から顔の見える関係づくりを心がけましょう。連絡時には相手の業務の体制を考慮しながら連絡しましょう。
- 所属、担当者名は正確に伝えましょう。情報提供を行うことや求める場合は、患者の同意を得ていることを申し添えましょう。
- 病院関係者にも話を聞く場合は事前にアポイントメントをとりましょう。

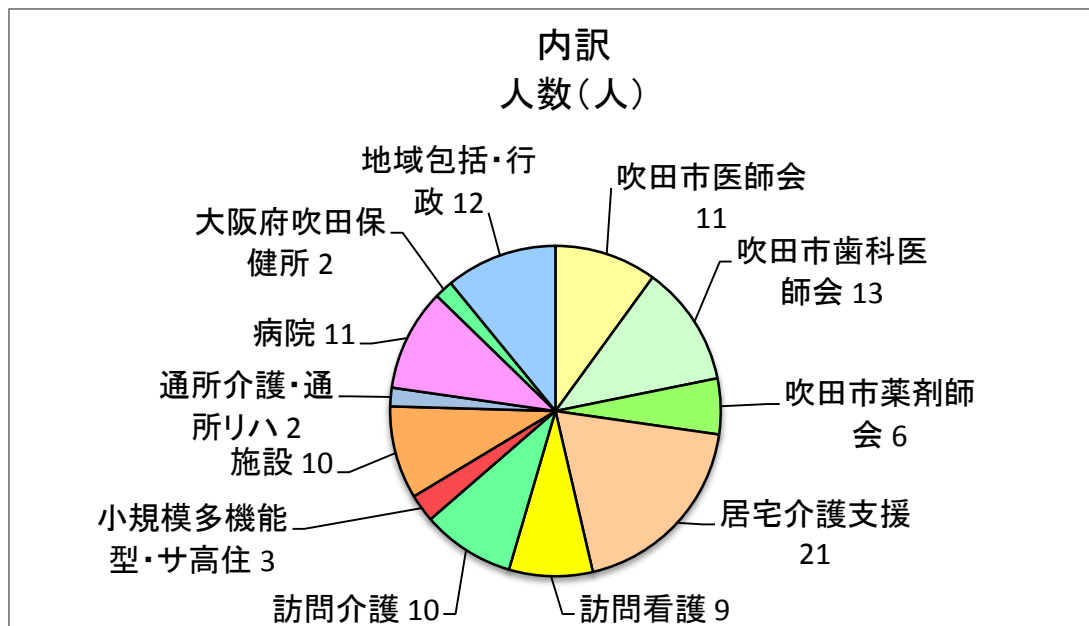
カンファレンスのマナー

- 退院前カンファレンスを効率的・効果的に行うために、事前準備をして臨みましょう。
- 多職種との連携では専門用語は使わず、分かりやすい言葉を使いましょう。
- 効率的に行うために時間配分に留意しましょう。
- 退院支援担当者とはケアマネジャーの間で、支援対象者の意向と家族の意向に相違がないかなどの確認をしておきましょう。

吹田市ケアネット実務者懇話会 平成29年3月作成

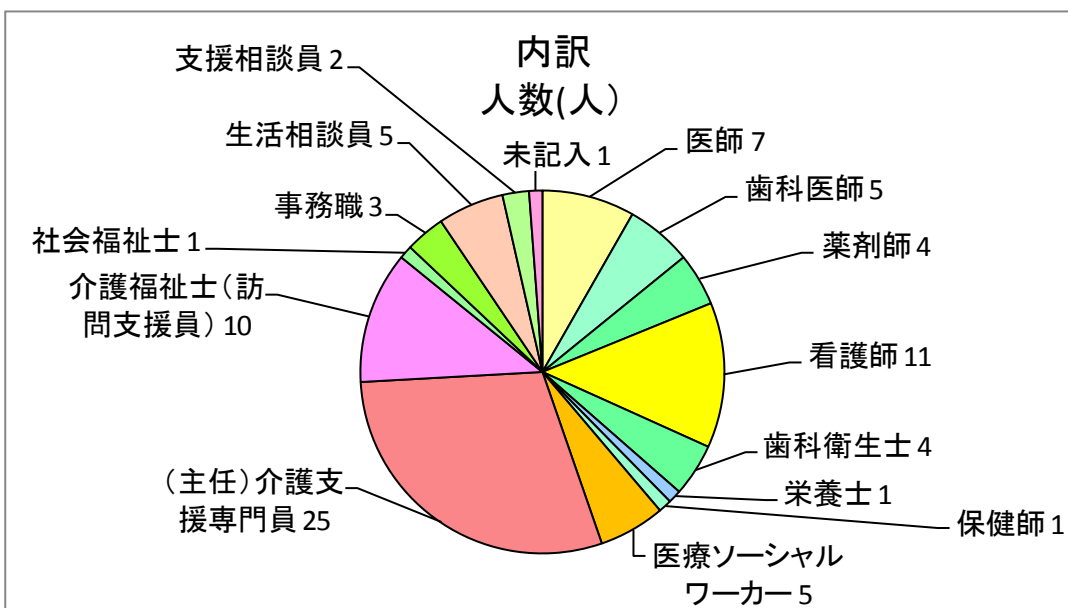
多職種連携研修会（平成 29 年 1 月 26 日）アンケート集計

1 参加人数(110 人)

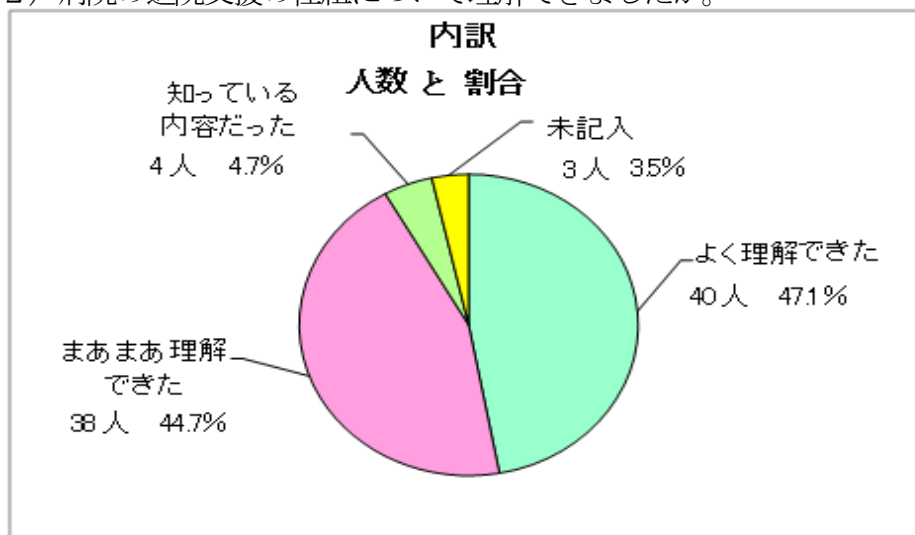


2 参加者アンケートのまとめ (回収数 85 枚、回収率 77.3%)

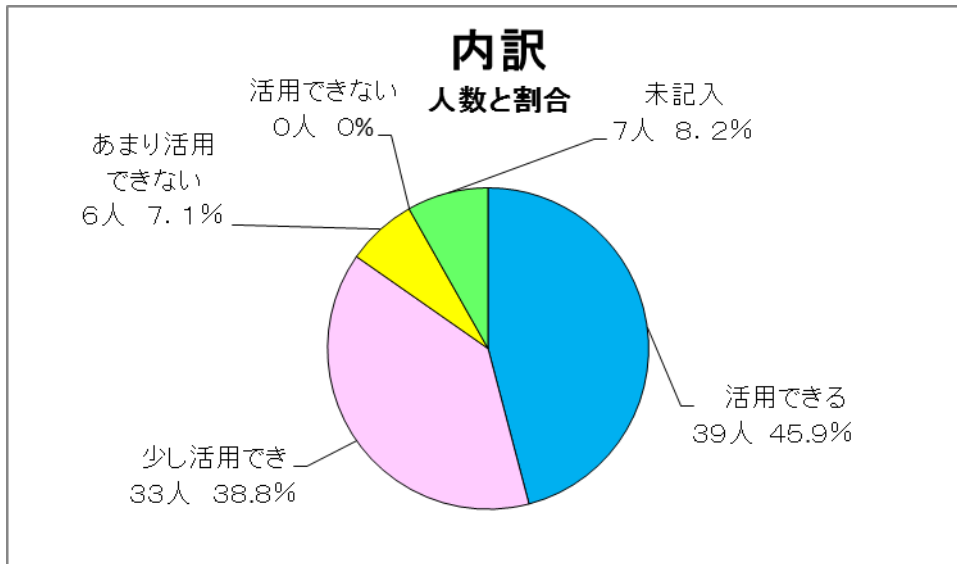
(1) 参加者の職種



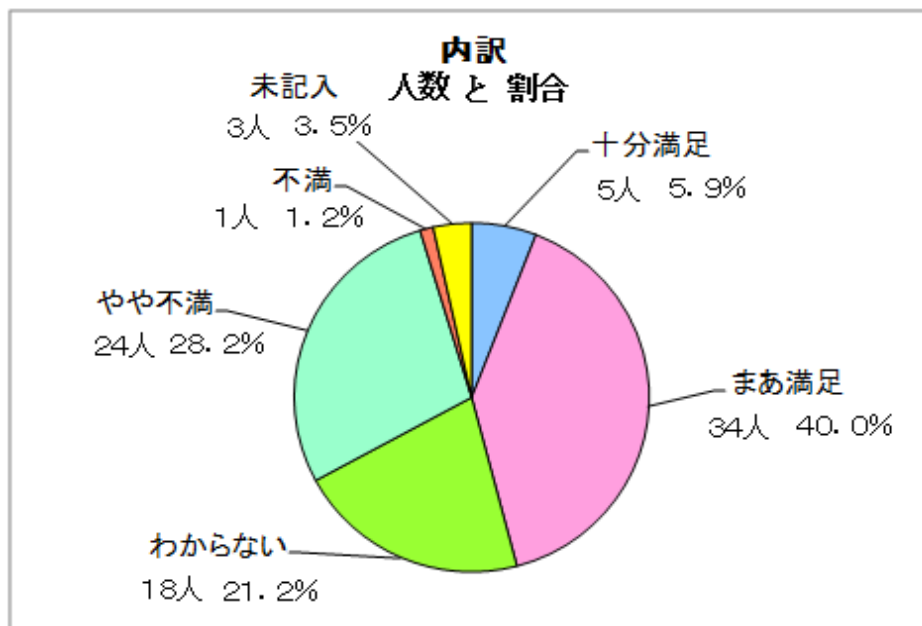
(2) 病院の退院支援の仕組みについて理解できましたか。



(3) 本日の研修会の内容は、今後の退院時支援の連携に活用できそうですか。



(4) 医療と介護の連携について、あなたは現状をどのように感じていますか。



9+

(5) 本日の研修会を終えて、医療と介護の連携強化を図るために今後の活動目標について

